

開きドア取扱説明書

rev. 1

この取扱い説明書には、商品を正しくご使用いただくための注意事項とお願いについて記載されています。

商品ご使用の前に必ずお読みください。またお読みになった後も、いつでもご利用いただけるよう、大切に保管してください。

1

ご使用上の注意

◆錠前のハンドルやラッチボルトにぶつからないように気をつけてください。

当たってケガをしたり、衣服を引っ掛けて転倒したりする恐れがあります。

◆ハンドルにぶら下がったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険ですし、錠前が正常に機能しなくなる恐れがあります。

◆錠前は分解、改造しないでください。中の部品が飛び出してケガをしたり、正しく組み立て直すことができなくなる恐れがあります。

◆錠前の受け金具(ストライク)の穴に指を入れないでください。

指を切ったりケガをしたりする恐れがあります。

◆鍵穴に油や異物を入れないでください。故障や汚れの原因になります。

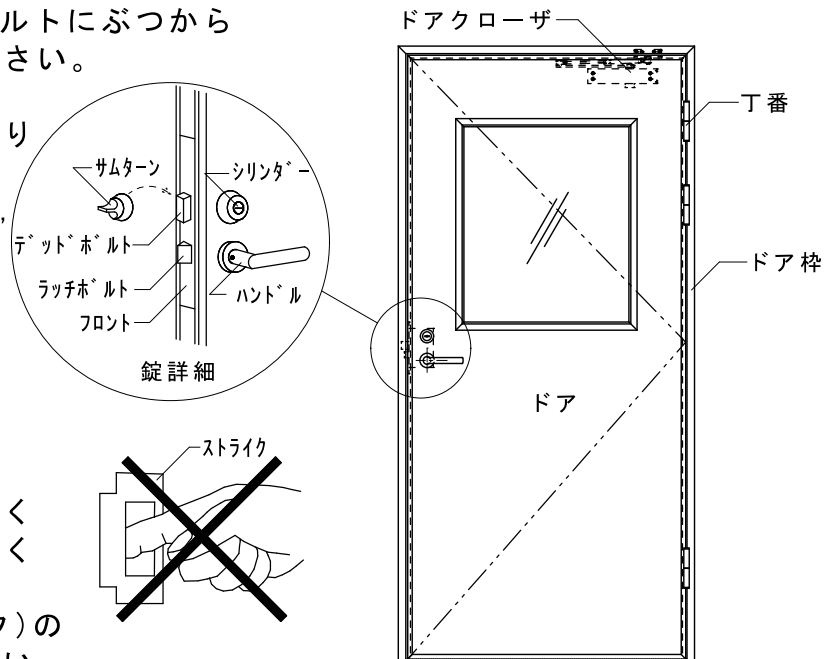
◆錠前に関するさらに詳細な点に関しては、錠前メーカーの取扱説明書をご参照ください。

◆ドアの開閉時には、ドア枠とドアの間に人がいないこと、また障害物が置かれていないことを確認してください。

◆ドアクローザは、ドアを自動で閉じるためのもので、油圧によりゆっくり閉じる構造になっています。季節の温度変化や窓などの開閉によって誘発される屋内の気圧の変化などにより、ドアの閉じる速度が変わることがあり、極端に速度が速くなるとケガをする恐れがありますのでご注意ください。

◆ドアクローザは分解、改造しないでください。中の部品が飛び出して思わぬケガをしたり、正しく組み立て直すことができなくなる恐れがあります。

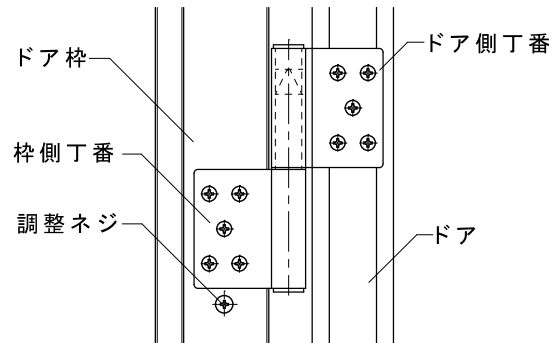
◆ドアクローザの調整方法やさらに詳しい取扱いについての説明は、添付の別紙「ドアクローザ取扱説明書」をご覧ください。



2

ドア位置の調整

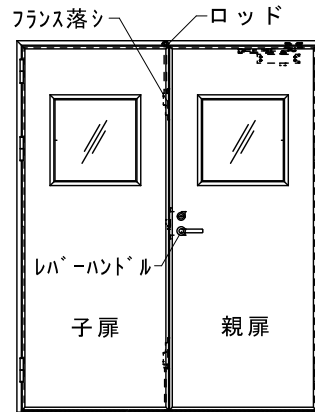
- ◆ ドアの上下出入位置の微調整が必要な場合には、各枠側丁番下方の調整ネジを緩めて行なってください。調整後は同ネジをしっかりと締め付けてください。その際、枠側丁番が傾いていないか、また、ドア側丁番と枠側丁番との連結部に隙間が生じていないか確認してください。



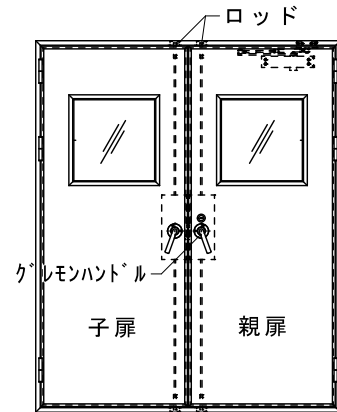
3

両開き(親子)扉の場合の注意事項

- ◆ 扉戸先側上端部及び下端部にロッドが突出する仕様になっている場合には、必ず扉の開閉時にロッドが扉より突出した状態になっていないことを確認してください。
- ◆ ロッドの出入りの操作は、ドアの仕様により、フランス落シ若しくはグレモンハンドルで行なってください。



レバーハンドル仕様
※握り玉仕様も同様です。



グレモンハンドル仕様
※ハンドルが水平な状態でドアを開閉してください。

4

お手入れについて

- ◆ 長期間、清掃しないままですと、表面に付着した汚れがシミや腐食の原因になります。汚れが軽いうちに清掃してください。特に塩分や薬品類の汚れは速やかに清掃してください。
- ◆ 清掃は、水または中性洗剤を薄めた液をやわらかい布に含ませ、固く絞ってから汚れをふき取るようにしてください。その際、洗剤の成分が残らないようにしてください。
- ◆ サンドペーパーやワイヤーブラシ、スチールウール等を使わないでください。製品に疵がつき、シミや腐食の原因になります。
- ◆ 酸性またはアルカリ性の洗剤、揮発性の薬品類等は腐食や変色を促す可能性がありますので使用しないでください。



株式会社 富士商会

台東区台東4丁目30番7号

☎ 03(3831)4186